

令和2年度 学校評価 自己評価書 (1学期)

- 1 学校の教育課題 ○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○体力向上と保健・安全意識の向上
○特色ある開かれた学校づくりの推進 ○教職員の資質向上

2 課題と改善策 (4:よく実践され効果も出ている 3:実践されている 2:実践されているが効果が出ていない 1:実践が十分でない)

重点目標	評価項目	評価		成果や課題
		R1 1学期	R2 1学期	
確かな学力の向上	1 複式学習過程の定着のために、花尾小ガイド学習の定着に取り組む。	2.3	2.3	【成果】 1-○ ガイド学習の手引きやホワイトボードに学習の流れを書くなどして、2年生は自分たちで進めようという意識は出てきた。2学期は自分たちで進められるようにし、自信につなげていきたい。 2-○ 算数の授業を中心にしっかりめあてとまとめを意識して板書計画を立てた。 4-○ 黒板の前に出て説明する活動を多く取り入れ、相互学習につなげることができた。 7-○ 家庭学習強調週間は特に保護者が見届けを行って下さった。 8-○ 自分が喋ってしまい、なかなか黙々作業ができていない。 9-○ うれしいポストを活用して、1年生も他学年の友だちに気持ちや伝えられるようになっていく。 10-○ 児童はボランティア活動等をよくがんばっている。 11-○ 読書週間を初め、図書館から子ども達が本を読みたくなる試みをたくさん発信して下さるので、とてもありがたい。 11-○ 図書館で準備をして下さり、取り組むことができた。 12-○ 1年生は、自分の一輪車が配られ、練習を頑張ることが出来たが、長梅雨で練習できない期間が続いたので、2学期の初めにも体育や休み時間に取り組ませていく。 14-○ 保健室からよびかけをして下さっているおかげで、マスクや手洗いうがいについて意識は高まっているが、慣れも出てきているので、学期初めにしっかり指導をしたい。 14-○ むし歯保有者でよく名前が挙がる児童が最近治療に行っているようで、児童がその様子を教えてくれた。呼びかけ続けることが大切だと思った。 15-○ 歯磨きの仕方や時間を確認し、学級全体で取り組めた。 17-○ あいご会活動がなかなかできない状況だが、皆さんが気にかけて下さり、うれしく思う。 18-○ 異文化交流学習で、人材を積極的に活用して、充実した活動が実施できた。 19-○ ぴっかぴか大作戦は、隅々まできれいに掃除することができた。 20-○ 高学年のお手本となる授業を見せていただいたので、低学年にも生かしていきたい。 21-○ 今年も会議の時間短縮など、業務改善が目に見える形で実施されていて良かった。
	2 思考過程が分かる構造的な板書(整合するめあてとまとめの提示)	2.8	2.7	
	3 児童の思考・判断を促す発問に取り組む。	3.0	2.7	
	4 児童が自分の考えを相互に説明する活動を位置付ける。	2.8	2.7	
	5 ドリルタイムや学習チャレンジタイムで習熟と活用を図る。(鹿児島チャレンジ・アシストシート、名作名文の暗唱、意見文等を書く活動)	2.8	3.0	
	6 授業で児童のICT活用に取り組み、学年に応じた活用をさせる。	3.3	3.0	
	7 家庭学習の点検を工夫し、調べたり文章を書いたりする宿題を出す。	3.3	3.0	
豊かな心の育成	8 黙々作業100%をめざす。	2.6	2.8	
	9 人権同和教育の視点に立って、1週間に1つ以上は児童全員のよさを見つけ、職員室や朝・帰りの会等で共有する。(うれしいポストの活用)	3.5	3.3	
	10 環境ISO活動やボランティア活動、青少年赤十字活動を通して、気付いて行動した児童を広める。(うれしいポストの活用)	3.5	3.2	
	11 毎月23日は「うちどく」(花尾読書の日)に取り組む。	3.8	3.5	
・体力と安全意識の向上	12 「一輪車名人になろう」に取り組む。(チャレンジかごしまの活用)	3.0	3.3	
	13 仲よし体育や授業で持久力や敏捷性の向上に取り組む。	3.3	3.3	
	14 健康タイムや各種健康教室を工夫し、疾病予防や早期治療に取り組む。	3.5	3.2	
	15 早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きの習慣化に取り組む。	3.8	3.2	
	16 月1回の安全点検と連動した補修状況を共有し、安全指導を徹底する。	3.6	3.2	
特色ある開かれた学校づくり	17 地域合同行事や文化財少年団活動、あいご会活動を通して、保護者や地域住民と絆を強める。	3.5	2.4	【課題】 1-● 学習の躰をなかなか定着させることができなかった。ガイド学習のための指導や支援を継続したい。 3-● 教師がいない間にどんな活動をさせるかが難しかった。(特に1年生)音読や書字、プリントなどを活用したが、なかなかうまくいかなかった。 5-● 取り組ませた成果や課題を見ていくことができればよい。 6-● 教科書が変わり主要教科のデジタル教科書がまだ導入されていないため、やや使いにくさを感じた。 20-● テーマ研修の準備が不十分で研修の時間を有効に使えなかった。2学期以降は、他の先生方と連携しながらしっかり研修を進めていきたい。
	18 地域人材を活用して、郷土を学ぶ探究学習(総合学習・創意)に取り組む。	3.3	2.5	
	19 教児同行で清掃活動や花作りを行い、美しい学校づくりを行う。	3.5	3.0	
資教職員の質向上	20 研究テーマに基づく研究授業を行い、参加型の授業研究に取り組む。	3.3	2.5	【その他】 ○ 全体的に明るく素直な児童が多く、いろんなことに一生懸命ががんばることができていると思う。
	21 業務改善に取り組み、良い事例を共有する。	3.0	3.0	

3 次学期に向けての取組

(1) 花尾小学校は全学級複式学級で、ガイド役の児童が学習を進めていけるように、ガイド学習の定着に取り組んでいる。低学年用花尾小ガイド学習の手引きを使い、低学年から、少しずつガイド学習に取り組んでいけるようにしていく。
(2) 確かな学力の向上のために、「めあて」と「まとめ」の整合性や、思考過程の分かる「板書の工夫」。また、合わせて「ノート指導」の徹底を行っていく。
(3) ドリルタイムや学習チャレンジタイムでは、個に応じて、習熟と活用を図るように努めている。また、プリントや課題等をただ与えることなく、児童の解答を分析し、計画的に課題等を与えるようにしていき、学力向上へつなげていきたい。
(4) 昨年度から取り組んでいる、一学校一改革「黙々作業で きれいな学校」が昨年度と比べ浸透してきている。今後も教児ともに実践できるようにしていく。
(5) 業務改善については、「改善」の意識を昨年度同様、全職員が持ち、一人一人が自分自身にできる改革を見つけ、それを共有できるようにしていく。